

県西地域の農産物を活用した未病を改善する商品開発について

1 目的

県西地域で栽培した農産物が持つ「未病の改善」につながる効果・効能を活用し、新たな商品化を進めることで、農産物の付加価値を高め、県西地域の活性化につなげる。

2 これまでの事業の経過

- 平成 28 年度県西地域大学連携事業において、横浜薬科大学と共同で湘南ゴールドの果皮に含まれるフラボノイド成分の機能性を実証するため、高齢者特有疾患への効能を検証する臨床試験を実施したところ、湘南ゴールドの果皮パウダーを 1 日 0.5g 摂取することで、血圧の上昇を抑える作用が確認された。
- 臨床試験の実施にあたっては、パウダーの苦味が大きな障壁となったことから、粉末の改良や、有効量を無理なく摂取できる商品の開発を先行して実施する必要性が確認された。

3 平成 29 年度の取組み

- 実行委員会（横浜薬科大学、J A かながわ西湘、J A 全農かながわ及び県）の設置
 - 湘南ゴールドパウダーの細粒化による食品添加への容易化と苦味の低減の実現
 - 湘南ゴールドパウダー0.5g を含有したゼリーをモデル商品として試作（湘南ゴールドジュレ）
→ 一般向けの試食会等を通じ、アンケート調査を実施
 - パウダーを活用した商品の試作依頼（県内食品会社等）
- ※ 原料となる湘南ゴールドについては、機能性成分を多く含む9月の摘果品を使うことで、農家の所得向上にもつなげる。



4 今後の取組み

- モデル商品として試作したゼリーについて、引き続きモニター調査を実施するとともに、民間企業が自立的・継続的に商品の販売をするために、製造・販売体制の構築を目指す。
- 機能性成分の含有を謳った健康食品に加え、農業振興の観点から、地元食材を有効活用した6次産業化の手法による特産品づくりについても、支援を行っていく。
- 湘南ゴールド以外の機能性が期待できる新たな素材として、県西C農政部で研究を進めてきた「茶の実」を活用した「ティーオイル」の商品化を目指す。
- 商品化の際には、「神奈川 ME-BYO スタイルアンバサダー」が提案した「ME-BYO スタイル」のロゴ・マークにより統一的なPRを行う。